

チームエントリー選手紹介

Team Entry Players

① 学部・学科 ② 出身高校 ③ 自己記録(10月1日時点)



小倉 史也
FUMIYA OGURA

① 経営学部
経営学科
② 伊賀白鳳・三重
③ 5,000m / 14'09"27
10,000m / 29'15"96

4年



國安 広人
HIROTO KUNIYASU

① 経営学部
経営学科
② 須磨学園・兵庫
③ 5,000m / 13'54"56
10,000m / 28'18"71

4年



永井 駿
SHUN NAGAI

① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
② 九州学院・熊本
③ 5,000m / 14'06"74
10,000m / 28'51"30

4年



馬場 賢人
KENTO BABA

① コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科
② 大牟田・福岡
③ 5,000m / 13'52"55
10,000m / 28'40"67

4年



吉屋 佑晟
YUSEI YOSHIYA

① 経営学部
経営学科
② 広島国際学院・広島
③ 5,000m / 13'58"73
10,000m / 30'34"48

4年



伊藤 匠海
TAKUMI ITO

① 経営学部
経営学科
② 拓大一・東京
③ 5,000m / 13'57"31
10,000m / 28'56"64

3年



木島 陸
RIKU KIJIMA

① 経営学部
経営学科
② 相洋・神奈川
③ 5,000m / 14'18"66
10,000m / 30'18"22

3年



木代 博也
HIROYA KISHIRO

① スポーツウエルネス学部
スポーツウエルネス学科
② 水城・茨城
③ 5,000m / 14'38"53
10,000m / —

3年



野口 颯汰
SOTA NOGUCHI

① 経営学部
経営学科
② 学法石川・福島
③ 5,000m / 14'17"95
10,000m / 30'13"07

3年



原田 颯大
SOTA HARADA

① スポーツウエルネス学部
スポーツウエルネス学科
② 洛南・京都
③ 5,000m / 14'06"50
10,000m / 29'39"38

3年



鈴木 愛音
MANATO SUZUKI

① 経営学部
経営学科
② 城西大城西・東京
③ 5,000m / 14'07"63
10,000m / 29'49"15

2年



本宮 慶尚
KEISHO HONGU

① 経営学部
経営学科
② 水城・茨城
③ 5,000m / 14'16"95
10,000m / 29'33"54

2年



山下 翔吾
SHOGO YAMASHITA

① 観光学部
交流文化学科
② 國學院久我山・東京
③ 5,000m / 13'52"67
10,000m / 29'25"91

2年



浮邊 直人
NAOTO UKIBE

① 経営学部
経営学科
② 愛知・愛知
③ 5,000m / 14'24"72
10,000m / 30'05"63

1年



尾田 悠翼
YUSUKE ODA

① スポーツウエルネス学部
スポーツウエルネス学科
② 仙台育英・宮城
③ 5,000m / 14'24"20
10,000m / 31'20"30

1年



向津 翼
TSUBASA MUKATSU

① 経営学部
経営学科
② 世羅・広島
③ 5,000m / 14'09"29
10,000m / 29'39"19

1年



立教大学

立教大学

秩父宮賜杯
第57回 全日本大学駅伝対校選手権大会
2025 11/2 日

立教大学体育会陸上競技部と秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会 About

「秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会」は、シード校8校と全国8地区で行われる選考会を勝ち抜いてきた 代表校で争われます。

本学体育会陸上競技部男子駅伝チームは、全国8地区で行われる地区選考会のうち「秩父宮賜杯全日本大学駅伝 対校選手権大会関東学生陸上競技連盟推薦校選考会」に2021年度から出場し、2024年関東地区選考会にて5位の成績を収め、本選へ初出場。本選では7位 という成績を収め、初出場にしてシード権獲得という快挙を成し遂げました。

全日本大学駅伝対校選手権大会 とは？

「全日本大学駅伝対校選手権大会(全日本大学駅伝)」は、「出雲全日本大学選抜駅伝競走(出雲駅伝)」、「東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)」とともに学生三大駅伝と呼ばれている伝統ある駅伝大会です。同一シーズンにこれらの3大会で優勝することを「大学駅伝三冠」といい、これまで5校が達成しています。

「全日本大学駅伝対校選手権大会」は、毎年11月第1日曜日に開催され、名古屋・熱田神宮〜三重・伊勢神宮までの8区間の合計106.8kmをシード校(8校)や全国8地区の選考会を勝ち抜いてきた代表(17校)、オープン参加の日本学連選抜、東海学連選抜の計27チームが大学日本一をかけて競います。

立教大学箱根駅伝プロジェクト Phase2

本学では箱根駅伝のシード権獲得と上位進出を目指す「立教大学箱根駅伝プロジェクトPhase2」に取り組んでおります。

本学体育会陸上競技部は、箱根駅伝が始まった1920年に創部。1934年の第15回大会から出場し、最高順位は1957年第33回大会で総合3位という伝統校です。1968年の第44回大会以降、出場が途絶えていましたが、2018年に箱根駅伝出場を目指す「立教箱根駅伝2024」事業を開始。徐々にその成果が表れ、2023年の第99回大会で大会史上最長の55年ぶりとなる復活出場を果たし18位という成績を収めました。また、2年連続の出場となった第100回大会では総合14位となり、前回大会から4ランクアップの躍進を遂げました。3年連続の出場となった2025年の第101回箱根駅伝では、シード権は逃したものの、前回大会より1ランクアップの13位に。プロジェクトの目標達成に向けて着実な一歩を踏み出しました。

106.8km

1区

全区間最短の9.5km。各チームのスピードランナーが集まる区間。

9.5km



熱田神宮西門前
START
名古屋市熱田区神宮

2区

1区の次に距離の短い11.1km。過去には幾多のごぼう抜きが生まれてきた。

愛知県

4区

11.8km。前半から後半へ流れを繋ぐ重要な区間で、アップダウンの連続。適応力が試される。

11.8km

3区

前半最長の11.9km。損斐長良大橋を渡るなど、橋や立体交差による小刻みなアップダウンが続く。

11.9km

伊勢湾

5区

後半戦スタートの5区は12.4km。晴天なら気温が上がる時間帯のため、気温の変化にも注意が必要。

12.4km

12.8km

6区

三重県の県庁所在地、津市の繁華街を通過するフラットな道が多い、華やかな12.8km。

三重県

7区

7区は、8区間中2番目に長い距離の17.6km。レースも佳境に入り、優勝争い、シード権争いが激しくなる。

17.6km

8区

最終8区は最長区間の19.7km。チームの命運を握るアンカー区間。ゴールを目指し、最後の力を振り絞る選手の姿に注目。

19.7km

伊勢神宮内宮宇治橋前
GOAL
伊勢市宇治館町



立教大学 公式LINE
立教駅伝応援

立教駅伝応援【公式】LINEアカウントでは、監督や選手の情報、陸上競技部男子駅伝チームの競技成績や試合日程などの情報を確認できます。



@rikkyoekiden

「立教大学箱根駅伝プロジェクト Phase2」
特設Webサイト

「立教大学箱根駅伝プロジェクト Phase2」事業の取組み内容を紹介する動画、過去の箱根駅伝出場記録や最新の競技成績、最近のトピック等を確認できます。各業界の第一線で活躍するOB・OGの応援メッセージも必見です。



<https://www.rikkyo.ac.jp/rikkyoekiden/>

陸上競技部男子駅伝チーム
公式サイト

現在の男子駅伝チームの選手のことが分かるブログや競技成績、スケジュール、過去に箱根駅伝に出場した先輩たちの実績等を紹介しています。



<https://www.rikkyo-ekiden.jp/>



陸上競技部
男子駅伝監督

高林 祐介

平素より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。昨年は初出場ながら7位でシード権を獲得しました。今年は2回目の出場となりますが、昨年の経験を(私の地元でもあるので地の利も)活かし、シード権の8位入賞を目標に、果敢にチャレンジいたします。予選会から連戦となりますが、最後まで粘り強く櫓をつないでまいります。皆様の力強いご声援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



陸上競技部
男子駅伝主将

國安 広人

平素より多大なるご支援・ご声援、誠にありがとうございます。昨年度は全日本大学駅伝に初出場でシード権を獲得し、チームが飛躍するきっかけになりました。今後、立教大学がさらに上を目指すべく、本年度は「2年連続のシード権獲得」を目標に、チームの総合力を武器に熱田神宮から伊勢神宮まで江戸紫の櫓をチーム一丸となつてつなぎます。当日は応援のほどよろしくお願いいたします。

2025 11/2 日

START

8:10

熱田神宮西門前

GOAL

13:20 頃

伊勢神宮内宮宇治橋前

■ 応援注意事項

- 事前に申請をした大学応援団以外、集団応援や鳴り物を使用しての応援を禁ずる。
- 安全のため石垣や縁石等の上に上らず、応援は必ず歩道上で行うこと。歩道から手や体の一部を乗り出したり、のぼり等をコースへせり出したりの応援を禁ずる。
- 車両(自動車・自動二輪車・自転車等)を使用しての応援および伴走と見られる応援を禁ずる。そのような行為をした場合は、審判長の裁定で出場チームを失格とすることがある。
- 横断幕、のぼり、旗等をガードレールや橋など沿道公共物にくくりつけることは道路交通法違反であるため、一切を禁ずる。
- スタート地点前後30mでの大学名の入った横断幕、のぼり、旗等の掲出を禁ずる。
- ゴール地点と各中継点付近、中継所付近の応援エリア、店舗の前では大学名の入った横断幕、のぼり、小旗等の掲出を禁ずる。協賛団体の掲示物はこの限りではない。
- 大学名の入った小旗・パンフレット等を一般の観客に配布することを禁ずる。
- その他、荷物の積み降ろし等は、役員・警備員の指示に必ず従うこと。